

〔 横浜市市民文化会館関内ホール 〕
 令和5年度業務報告及び収支決算
 〔 かんないアート&メディアパートナーズ 〕

(株) t v k コミュニケーションズ・(株) テレビ神奈川・神奈川新聞社・
 (株) 清光社・(公財) 横浜市芸術文化振興財団共同事業体

※ 文中の事業欄において、●：主催事業 ○：共催事業を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、□：定量的指標 ■：定性的指標を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市市民文化会館関内ホール
所在地	横浜市中区住吉町4-42-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上5階地下2階建
敷地・延床面積	延床面積 8,967.51 m ²
開館日	1986年(昭和61年)9月27日

2 指定管理者

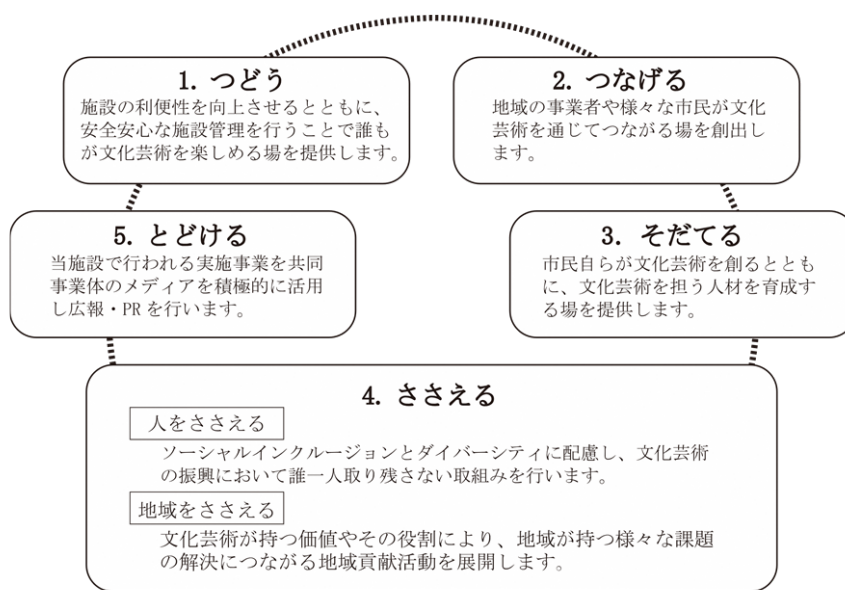
法人名	株式会社 t v k コミュニケーションズ
所在地	横浜市西区西平沼町6-1 tvk ecom park (ヨコハマくらし館内)
代表者	熊谷典和
設立年月日	昭和49年9月10日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	令和4年4月1日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜市の文化芸術政策等への貢献を念頭に、施設の特長や馬車道エリアという立地を活かし、施設のミッションである「文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場の提供」「文化・芸術の鑑賞の機会の提供」「次世代を担う人材の育成」「地域のにぎわいの創出」等を実現するため、3期15年間の運営経験と5社共同事業体の持つ専門性を活かし、下記に示す5つのコンセプトと6つの使命に対する基本方針で関内ホールの管理運営に取り組めます。

◆ 5つのコンセプト



◆ 6つの使命と基本方針

1. 〈使命1〉 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場になる

- ①各種法令、条例、規則などを遵守し、あらゆる市民が利用し易い環境づくりを行います。
- ②施設利用者に対し、全職員のきめ細かな接遇やワンストップサービス（生花、弁当、機材等の手配）を実施することで発表、集会等、様々な文化的活動を支援します。
- ③利用者に対する定期的なアンケートやヒアリングを行うとともに、苦情があった際は対応フローに基づいた適切な対応を行った上で、今後の改善策を検討します。

2. 〈使命2〉 文化芸術の鑑賞機会を提供する

- ①地域の文化振興のニーズに応えるとともに、新たな文化芸術にも着目し、市民のための文化施設としてこれまでの文化芸術の継承と更なる拡がりのある鑑賞事業を実施します。
- ②市民参加型のシンボリックな事業への参加、体験型事業やアウトリーチ事業の積極的な実施により、市民の文化芸術についての意識を醸成します。
- ③ソーシャルインクルージョンに配慮し、障がいの有無に関わらず、一人でも多くの方に文化芸術の鑑賞の機会を提供します。

3. 〈使命3〉 次世代を担う人材を育む

- ①乳幼児対象や幼児から学童対象、小中学生等、子どもの成長段階や興味に合わせて、文化芸術に触れる多彩な機会を提供することで未来のアーティストの芽を育てます。
- ②若手ジャズミュージシャンの発掘や育成に向けてのステップアップ方式の演奏機会を提供すること等により、新進アーティストが活動の機会を広げる支援を行います。
- ③横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』に積極的に協力し、市民に向けた文化芸術活動に係る講座を開催することで、文化芸術活動の担い手の育成にも取り組みます。

4. 〈使命4〉 地域のにぎわいを創出する

- ①地元の馬車道商店街などに対して、広報活動の支援や地域イベントへの協力、クーポンサービスなどの実施により、連携・協働して地域の賑わいづくりを推進します。
- ②当共同事業体の強みを活かした様々なプロモーション活動を実施するとともに、地域文化の継承の役割も担います。
- ③地元事業とのタイアップや様々な関連団体との連携を行うことで地域の賑わいを創出するとともに、新たな地域貢献にも取り組みます。

5. 〈使命5〉 利用者の視点に立ち持続可能性を高める施設運営を行う

- ①これまでの当施設の管理運営ノウハウを発揮し、日々の施設点検と早期の修繕実施による施設の長寿命化を実現します。
- ②様々な災害を予見した、マニュアルの作成や職員への訓練、利用者に対する安全の確保を行い、施設の安全安心な利用を第一に考えます。
- ③公演開催時には多くの方が利用される施設であるため、業務基準を上回る清掃を実施することで、施設の安全性と美観を保ちます。

6. 〈使命6〉 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。

- ①新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による休館や利用者の制限があった際には、市と協議の上で速やかな対策を実施するとともに、制限が解除された際にすぐに安全が確保できる体制を整えます。
- ②感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下、安全安心な自主事業を開催するとともに、無観客ライブ配信や有観客とライブ配信を組み合わせる等、状況に応じた事業を実施します。

(2) 令和5年度の業務の方針

ア 全体について

「かんないアート&メディアパートナーズ」の2年目は、新型コロナウイルス業種別ガイドラインが5月に廃止となったが感染症の影響を注視し取り組んだ。

燃料価格の高騰による電気使用料、ガス使用料については国の激変緩和等措置により当初の見込より大きな減額となった。

こうした状況のなか、感染症対策が緩和されたことで施設の稼働率においては目標値を超え、文化活動は徐々に正常化されつつあり、利用料収入においても過去最高額となった。

コロナ以降、需要が高まった動画配信やオンライン会議などはリアル開催が可能となったが一定数のニーズはあり、今後も配信などの利用を踏まえ回線設備の強化、Wi-Fi環境を整備は次年度以降の課題として環境改善を図る。

また当事業体の特性を活かし、神奈川新聞やt v k（テレビ神奈川）の番組などを通して、イベントのターゲットを意識した記事掲載や紹介など積極的な広報を展開し、関内ホールの存在感向上につなげた。

関内地域の結節点として、ホールとしての役割を果たし、地域連携事業の発展に大きく寄与した。

イ 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場になる

- ・市民が利用しやすい環境を整備するため、利用者に寄り添った運営を常に心がけて取り組んだ。
- ・1期目の指定管理より実施しているステージコンシェルジュは、ワンストップサービスを心掛けた取組で、はじめて利用を検討している方には施設の空き時間帯を活用した下見を実施しており、申請手続きや利用料金についての相談や、舞台・音響・照明の技術面についてなど、催し物すべての相談に対応し、安心して利用いただけるよう取り組んだ。はじめての利用者からリピーターまで、「丁寧に対応していただき気持ちよく利用できている」とのアンケートの意見が多く寄せられ、日常的な対応が市民の利用満足につながっている。
- ・市民が利用しやすい環境づくりとなるよう、利用者に寄り添った運営を常に心がけて取り組んだ。
- ・アンケートは期間を定めず通年実施し、利用者の声に常に耳を傾けている。2018年の大規模改修により、施設・設備面では利用者から否定的な意見はほとんどないため、運営側のソフト面での対応が肝心であると捉えている。
- ・ゴスペルワークショップの開催は見送りとなったが、令和7年度のスケジュール調整が無事完了し開催実施に向け進めている。

ウ 使命2 文化芸術の鑑賞機会を提供する

- ・施設の特徴を生かし、さまざまなジャンルの公演を開催した。令和6年3月に小山実稚恵ピアノリサイタルを開催し、大規模改修時に大ホール客席天井の一部の傾斜角度を変更したことで音響効果が大きく改善されたことが実証できた公演となった。今までクラシックには不向きと捉えられていたが、良質な公演を実施することで、ホールの価値観の向上につなげていく。
- ・3館連携事業として実施したスクランブル・ダンスプロジェクト公演『ロックス』では、他館（岩間市民プラザ、吉野町市民プラザ）で開催したダンスワークショップ参加者もステージで共演し、障がいの有無に関係なく会場内が一体となった公演を開催した。

エ 使命3 次世代を担う人材を育む

- ・0歳から鑑賞できるファミリー向けコンサートを6月と2月に開催。大変にぎわった公演となった。乳幼児は直前に体調を崩すこともあるため、公演開催間際となったところでチケットが動き、最終的には予定枚数完売となった。事前にベビーカー置き場やおむつ替え、授乳のためのスペースを設け、小さなお子様連れの利用者も安心して参加できるよう努めた。

オ 使命4 地域のにぎわいを創出する

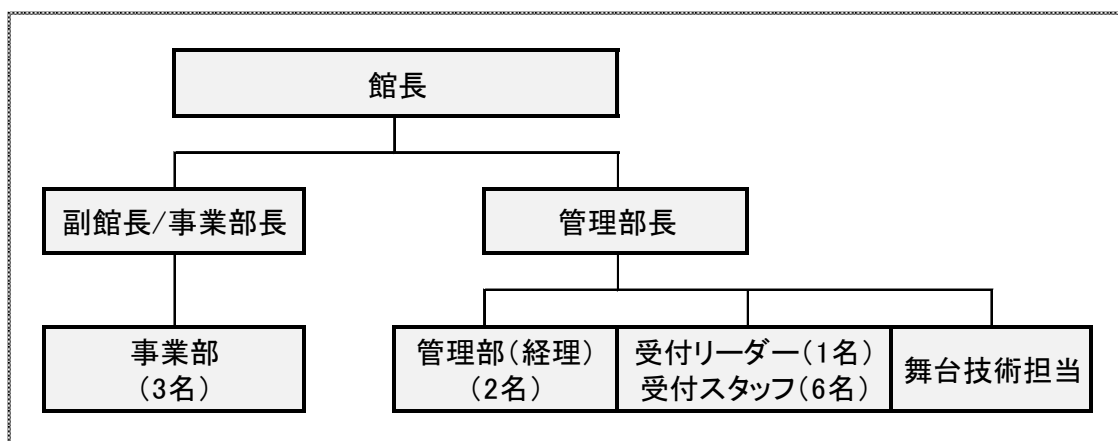
- ・馬車道商店街と共催で10月31日から11月3日にかけて「馬車道まつりアートフェスタ」を開催した。10月31日は東京ガス主催による横浜市地元大学との共創コンサート「カケル@馬車道2023～JAZZ&ORCHESTRA」が開催され、東京ガス、地域の大学（神奈川大学・関東学院大学）によるイベントでは、関内ホールが地域の結節点となり地域連携事業として発展させた。
- ・ご高齢の方に人気を博している「陽だまりコンサート」は馬車道商店街主催の「あいすくりーむ発祥記念の日」の関連イベントとして実施し、感染対策を行ったうえで再開した。
- ・地域活性化の取り組みとして、馬車道商店街だけでなく関内まつり実行委員会による「関内まつり」では、本部を敷地内に設置するなど協力するなか、施設の利用者に配慮し、まつり開催前から地域団体と意見交換や打合せを重ねて地域のにぎわいに寄与した。

カ 使命5 利用者の視点に立ち持続可能性を高める施設運営を行う

- ・令和5年11月に横浜市市民利用施設予約システムが更新され、ユーザーインターフェースなどが一新されたことに伴い、利用者に一部混乱も見受けられたが、窓口対応時間の短縮や簡素化など新システムをスムーズに導入できるよう丁寧な対応に努めた。
- ・施設での突発的な修繕では、経過観察が必要な雨漏りや、長期的観点からの修繕の提案など、所管担当には随時報告・意見交換を行い、施設の最新の状況を常に共有するよう努めた。
- ・平成30年の大規模改修で新たに設置された場内テレビモニター（大小ホール合わせて9台）は、令和3年から故障が続き、メーカーからは特に問題がある機種ではないとの報告であったが、ほとんどのモニターに同様の故障がみられたため継続的にメーカーと交渉し、最終的には全ての個体が修理交換となった。常に館内設置の備品が故障している状況とならないよう日頃からきめ細やかな点検を実施した。

4 運営組織の構造、人員配置

◆組織図



- *互いに業務を補完しマルチジョブによる効率的で効果的な体制を構築します。
- *施設の管理にあたっては、専門分野の人材を適正に配置します。
- *高い意欲と実務経験を保有する職員が、各々の専門性を発揮し、市の施策や施設の役割等を十分に理解した上で業務を実施します。
- *専門スタッフにより、地域特性を熟知した事業企画や幅広い広報活動を実施します。

5 令和5年度の業務の取組

(1) 文化事業

コロナガイドラインが5月以降に廃止となり、公演開催についてはコロナ以前の状況に戻ってきたが、新型コロナウイルス感染症の感染が続くことも想定した事業展開を行った。

密な状態での歌唱が避けられないゴスペルワークショップについては実施を見送り、来場者も参加する陽だまりコンサートは客席での歌唱は十分な感染対策を行った上で実施した。

また、事業を行う上で懸念していた観客動員に関しては、収益の柱でもある落語公演は、夏開催の公演では完売とはならなかったが一定数の動員となった。

地域との連携による賑わい創出においては、今まで築いてきた馬車道商店街との協力関係を軸に地域の結節点となり、東京ガス、地域の大学（神奈川大学・関東学院大学）との地域連携事業として発展させた。

また、関内ホール・吉野町市民プラザ・岩間市民プラザとの3館連携事業においては、障害がある人もない人も共に踊る「スクランブルダンスプロジェクト」を開催し、ソーシャルインクルージョンに配慮した事業を実施した。

■今年度の実施事業（詳細は別紙「使命の指標の達成状況」）

〈鑑賞事業〉

計画を大きく上回る90公演を実施し、5万人を超える来場者を迎えた。リニューアル工事後音響効果が大きく改善した大ホールにて、著名な演奏家による本格的なクラシックコンサートを実施し、来場者アンケートにおいても好評を博した。

〈ソーシャルインクルージョンに配慮した鑑賞機会の提供〉

地域の社会福祉法人・横浜市視覚障害者協会と連携し、視覚に障害のある方を陽だまりコンサートへ招待し、来場者が音楽に触れる機会を創出し、満足いただける音楽鑑賞となった。

吉野町市民プラザ、岩間市民プラザとの3館連携事業では、障がいの有無を越えて共にダンスを創るスクランブルダンスプロジェクト『ロックス』を開催。ワークショップ参加者によるダンス×ミュージックセッションの公演を実施した。

〈横浜が誇る文化芸術事業への協力〉

横浜を代表するイベントである「横濱ジャズプロムナード」や「ヨコハマ映画祭」など市内外にも発信力のある事業に協力したほか、横浜観光を盛り上げてきたプリキュアのイベントにおいてはパレードのフィナーレ会場として開催に協力した。

〈次世代育成事業〉

0歳から参加できる乳幼児向けクラシックコンサート「よちよちひなたぼっこコンサート」や一般市民参加の市民こどもミュージカルを実施した。市内の小学4年生を対象としたバレエ鑑賞会「心の教育・バレエの世界」については運営業務を担当し円滑な開催に寄与した。

“教育プラットフォーム「学校プログラム」”については3校のコーディネートを担当し、アーティストを派遣し伝統芸能や良質な音楽鑑賞の機会を創出し、子供たちの貴重な感動体験の場を提供した。

〈新進アーティスト支援事業〉

玄関前ステージでのストリートライブと新進アーティストによるコンサートを再開。老舗ジャズ喫茶「ちぐさ」が主催する新人ジャズミュージシャン登竜門「ちぐさ賞」記念ライブを開催した。日本バレエ協会が主催する若きバレエダンサーのための新人コンクールを実施した。

また、若手劇団による市内 12 か月連続公演においては開催に向け会場提供し協力して進めていたが劇団都合により未開催となった。次年度以降も継続して検討を続ける。

〈市民の創作活動のための機会の提供〉

コロナ感染症の影響により実施を見合わせていた観客とともに歌うクラシックコンサート「陽だまりコンサート」は客席での歌唱は十分な感染対策を行った上で実施した。また、3館連携事業（再掲）で取組んだスクランブルダンスプロジェクトでは障がいの有無に関わらず、共に参加する共創型のダンスワークショップを開催した。

〈地域の賑わいへの貢献〉

馬車道商店街との連携による“あいすくりーむ発祥記念イベント”10月31日から4日間の日程で実施する“馬車道まつりアートフェスタ”を開催した。馬車道まつり実行委員会の一員である東京ガス主催による地域共創型のコンサートでは、地域の結節点となり地域の大学（神奈川大学、関東学院大学）と連携し地域共創型のコンサート実施、地域のにぎわい創出に大きく寄与し、文化におけるつながりを結んだ。

〈情報提供及び広報〉

月刊催物案内や事業チラシは毎月市内の約 240 カ所に配架している。

当事業体の強みを活かして、神奈川新聞の紙面では 32 回の記事掲載を行ったほか、ターゲットごとにイベント紹介記事をタウンニュースや新聞各社に掲載した。また、t v k（テレビ神奈川）スポットCM及び番組内告知などでビジュアル的な広報を行い、当事業体ならではのメディアミックスの広報活動を展開し、イメージアップを図った。

（2）集会や講演会利用への施設の取組み

舞台技術スタッフによる経験則に基づいた利用者へのきめ細やかなアドバイスと、公演実施で必要となる生花や看板などの手配をワンストップで可能にする“ステージコンシェルジュ”でスムーズな催事実施に寄与した。またホームページからは施設のデータ資料や、申請書類などをPDFでダウンロードできるよう整備し利便性向上を図った。また大・小ホールで開催する講演会、研修会、発表会などにおいては、一定数のニーズがある動画配信にも安心して利用いただけるようサポートした。

（3）施設運営

横浜市民の文化芸術鑑賞の機会を創出するホールとして、安全で安心してご利用いただけるよう、地域はじめ団体、教育機関と連携し運営に努める。

web 回答型のアンケートや利用者アンケート等で利用者の意見を集約し、責任者会議や職員会議において情報共有を行い、業務の改善に努めた。アンケートでは良質な公演に触れた方から、出演者へ

のメッセージや好意的な意見が大半を占めるが、改善を求める意見にも耳を傾け、改善に向けて具体的な検討を進め、運営に反映させていく。

予約システムの更新に伴い、新規システム導入の多少の不具合は想定していたなか、導入当初は運用にあたり、複数人の対応など利用者へ配慮し、大きなトラブルなく取り組んだ。利用者から要望が多い利用時間延長については、基本的な通常利用時間の範囲について案内し、延長利用が前提とならないよう注意喚起した。

(4) 施設管理

温水発生機更新工事においては着工会議から参加し、工事が滞りなく行われるよう全面的に協力した。また、利用される方が安心して利用できるよう日頃から設備点検の実施、警備員の定期的な巡回、日常清掃を実施し、複合施設の管理者として、施設全体の美観を維持し、快適な環境づくりに務めた。

(5) 収支

燃料価格の高騰による電気使用料、ガス使用料については国の激変緩和等措置により当初の見込より大きな減額となった。こうした状況のなか、感染症対策が緩和されたこともあるが、空き日程などはプロモーター等に積極的に案内し施設の稼働率を高めた。利用者数においては目標値を超え、文化活動は徐々に正常化されつつあり、利用料収入においても過去最高額となった。

自主事業においては販促のため広報を強化し挑んだが苦戦を余儀なくされた。一方で、オープナーなど今まで無料としていた事業も有料化して開催し、費用負担の軽減につなげた。

収益性の高い公演事業と費用負担が多い普及育成事業のバランスを保ち、質の高い事業企画による企業協賛や公的助成金の取得についても引き続き積極的に取り組んでいく。

(6) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

事務所、警備、設備、清掃、舞台等のセクションごとに管理日報を作成。管理日報や責任者会議管等の報告事項をとりまとめ月次モニタリング会議で横浜市へ報告を行った。

業務計画書ならびに業務報告書、業務評価表を横浜市へ提出した。

6 使命の指標の達成状況

(1) 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績	
1	貸館利用率	大ホール	92.4%	94.1%	95.7%	—	—	95.0%	—
		小ホール	79.3%	83.7%	89.1%	—	—	86.2%	—
2	総来場者数	208,09 3人	280,000 人	237,171 人	—	—	310,000 人	—	
3 ★	リハーサル室利用者による文化発表会の実施	実施に向け検討した	年1回	年1回	—	—	年1回	—	
4 ★	業務改善のためのPDCAサイクルとして定期的に責任者会議を実施	2カ月に1回	月1回	月1回	—	—	月1回	—	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 5 実績	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施 (※)
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 8 実績	—

※主催者、来場者、事業参加者向けアンケート実施内容

実施日	通年実施
実施方法	主催者、事業参加者にはアンケート用紙を配布、来場者向けは施設内にQRコード設置しwebアンケートとして実施
主催者からの声	「事務所の方もホールスタッフの方も非常に親切でとても助かりました。見に来たご家族、お客様からもホールの評判はとても良かったです。有難うございました。」「舞台スタッフさん前回と同様とても良く対応してくださりありがとうございました。」「お客様に良く知られていて集客が良いのでこの施設を選びました。」「階段が多くて大変でした。その他立地、スタッフさんの対応が素晴らしくてとてもよかったです。」
事業参加者からの声	・バックステージ体験 (11/3) 「バックステージに入ったことが無かったので、音響、照明の仕方を学び、舞台の大変さを体験することができ、非常に楽しかったです。スイッチを動かしてもらって、面

	<p>白かったです。ありがとうございました。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ解体ショー (11/3) <p>「ピアノの解体などははじめて見ましたがとても繊細な所まで近くで見られたことを光栄に思います。」「初めて体験したピアノの解体ショーはクイズなど若い人から高齢の方までも楽しめるエンターテイメントを体験出来てとても楽しく満足できたと思います。」「私の家族も楽しめていてよかったと思います。そしてピアノはこんなにも細かくできているとしたのでもっとピアノを知りたいです。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3館連携プロジェクト・スクランブルダンス (3/3) <p>「ワークショップ参加の皆さんの表情が輝いていました。社会の中では同じような人になるよう教育されて必要なことかもしれませんが人として違和感を感じています。しかしこのようなどんな人間もおいしい存在であること、そういうものだというのを見せていただいたと思います。障害をもっていても自分の身体をさらけだして表現することもすごく勇気があることでその勇気に拍手したいです。良い催しだと思います。アフタートークまで面白かったです。」「健常障害関係なく一体となった作品で圧倒されました。タテタカコさんの透き通った声と歌詞が刺さりました。初めての鑑賞でしたが垣根を超えて個々が参加できる場が日本中に広がればと思います。」</p>
--	--

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

- ・様々な割引制度により、条例に定められた該当団体への減免を適切に実施した。
- ・「マイ練習プラン」登録から見直しを図り実施した。
- ・「生中継動画配信サービス」引き続き無償で提供した。
- ・子供向けの参加型コンサート「よちよちひなたぼっこコンサート」を実施し、多くの乳幼児の参加を得た。
- ・社会人を対象としたゴスペルワークショップは、開催に向け協議を重ねたが感染症リスクを考慮し見送った。このワークショップの目玉、ワークショップ集大成である修了コンサートは大ホールでの開催としており、一般利用者の抽選より前、1年以上前に日程を決めなければならないため開催するには早めの決断が必要である。関係団体と検討をはじめ、令和7年度実施で進めている。
- ・業務改善のためのPDCAサイクルとして利用者アンケートを実施するとともに、日常的に利用者来場者の意見に耳を傾け、適宜改善を行った。定期的に責任者会議を実施してそれぞれの課題を共有・解決に努め、利用者満足度の向上に取り組んだ。
- ・リハーサル室の定期利用者による発表会の実施では、舞台技術面でのサポートや、発表会本番までに日ごろから意見交換ができたことでスムーズな発表会開催につながった。
リハーサル室4は床にリノリウムを常設したことでバレエ教室の利用が増え、ホールで発表会開催に繋がるよう取り組んだ。

(2) 使命2 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	鑑賞型事業のメニューのジャンル数、実施回数及び入場者数	7ジャンル 76回 32,211人	7ジャンル 44回 29,000人	7ジャンル 90回 52,453人	—	—	7ジャンル 44回 35,500人	—
2	体験型事業の事業数及び実施回数	4事業 5回	6事業 17回	5事業 8回	—	—	6事業 17回	—
3	アウトリーチ事業の実施回数	年0回	年2回	0回	—	—	年2回	—
4	来場者(参加者)満足度(アンケート集計)	86.1%	事業アンケートで「満足」以上の回答85%	87.0%	—	—	事業アンケートで「満足」以上の回答90%	—
5 ★	ソーシャルインクルージョンに配慮した事業の実施数	3事業	6事業	4事業	—	—	8事業	—
6 ★	公的な文化芸術事業へ協力を行った数	6事業	5事業	8事業	—	—	5事業	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の定性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行う
		R 5 実績	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行った (※)
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行う
		R 8 実績	—

※事業アンケートの回答や事業モニターの意見

実施日	11/25、3/9 ほか
実施方法	来場者アンケート
来場者の声と今後の改善点	<p>▼来場者の声</p> <p>「演奏者より聴衆に問題がある。音が鳴っているときにパンフレットの音を出したり、おしゃべりしたり、このコンサートには来たくない。」「おしゃべりやお菓子を食べている人がいました。非常に不快でした。」</p> <p>【今後の改善点】</p> <p>→マナーについて、どの公演でも影アナウンスでお伝えしているが、改善策を摸索している。</p> <p>▼来場者の声</p> <p>「開場時間を早めて欲しい。」「入場に混みあうためもう少し開場時間を早くした方が良いと思う。」</p> <p>【今後の改善点】</p> <p>→コロナ前は開演 30 分前で取組んでいたが、コロナで列を並ぶことが密とされたこともあり大ホールの開場時間は開演 1 時間前で取組んでいる。</p>

ウ 使命 2 を達成するために重点的に取組む事項

- ・「5/19 style-3!ライブ」「12/17 松井祐貴ソロライブ」の 2 公演において、障がい者割引設定を行い、12 人の利用があった。
- ・関内ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザの 3 館連携プロジェクトとして、障がいの有無を超えて共にダンスを創るスクランブルダンスプロジェクト公演を実施した。
- ・事業アンケートの結果、主催事業において公演の内容に対して「大変満足」「満足」の回答がどの事業でも概ね 85%を超えている。
- ・事業アンケートの回収率は約 40%、来場者の内訳は、「はじめて (30.9%)」と「5 回以上 (33.2%)」のリピーターが多い結果となった。地域属性としては、圧倒的に横浜市内が多く、70%弱を占めている。年齢層は、70代 (37.2%) を筆頭に 60代 (24.6%) 50代 (17.9%) 40代 (8.7%) と年齢順に減っていき、20代以下は 3.6%だった。概ね各世代の方に参加いただけているが、馬車道商店街を盛り上げていくためには若い世代 20代、30代が訪れる取組を仕掛けて行きたいと考える。
- ・公的な文化事業の実施に向けた積極的な支援・協力を行い、各主催団体と良好な関係を築き、継続的な実施を担保できた。
- ・令和 5 年度はアウトリーチを実施することが出来なかったが、地域ケアプラザを対象にオンライン配信 (限定) の取組を開始しているほか、主催事業「関内寄席 こころの 4 人」を市内の施設で開催し、市内で横浜出身の若手落語家を応援していく取組を進めている。

(3) 使命3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	子どもをターゲットとした事業数	16 事業	10 事業	13 事業	—	—	10 事業	—
★ 2	玄関前ステージでの公募型ストリートライブ定期開催数	2回	10回	10回	—	—	10回	—
★ 3	新進アーティスト支援を目的とした事業数	10 事業	5 事業	14 事業	—	—	5 事業	—
★ 4	学校プログラムへの協力	3校	2校	3校	—	—	2校	—

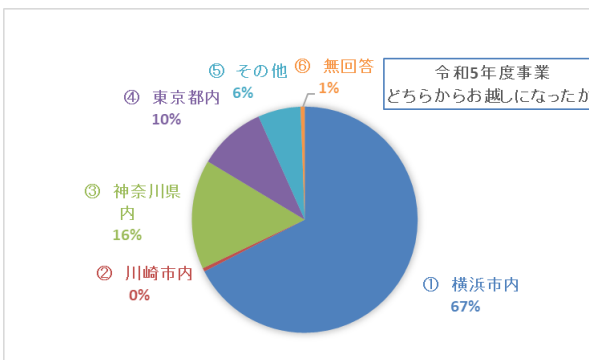
イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	子どもたちや学校の定性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行う
		R 5 実績	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行った (※1)
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行う
		R 8 実績	—
2	新たに参加した人の属性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活かす
		R 5 実績	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活用した (※2)
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活かす
		R 8 実績	—

※1 子どもたちや学校の定性分析：参加者または学校関係者へのアンケート及びインタビュー結果

1) 実施日	7/3、4 お箏を通じて日本の文化に触れてみよう
実施概要	お箏を通じて日本の文化に触れてみよう
内容	お箏の説明、「さくら」を演奏してみる、講師と一緒に演奏、講師演奏
こどもたちの声	「箏の番号を覚えたり、つめのつけ方など、いろんなことが知れて楽しかった」 「さくらを弾けてうれしかった」「先生の演奏が上手だったから自分も弾けるようになりたい」
2) 実施日	9/13、14、28
実施概要	斉唱・合唱の発声を学ぶ体験型プログラム
内容	講師のミニコンサート、発声練習、クラス別指導、歌唱合唱、全員合唱
こどもたちの声	「きれいに歌え、自分でもこんな声が出せるんだと思った」「声の仕組みを知ることが出来てうれしかった」
先生の声	「プロによる発声法や身体の使い方を聞いて、今後の授業に生かせそうなことがたくさんあったので、大変勉強になった。他の学年にも少しずつ伝えていきたい。」
3) 実施日	2024年2/28
実施概要	雅楽コンサート～日本の伝統音楽に触れよう
内容	講師のミニコンサート、発声練習、クラス別指導、歌唱合唱、全員合唱
こどもたちの声	「独特な音や音楽で不思議な気持ちになった。」「とてもよく響いていて感動した。」「雅楽の響きを味わえた」

※2 新たに参加した人の属性分析：事業アンケート結果

1) 実施日	関内寄席 4/2・7/2・12/10・2/12・3/20														
実施方法	来場者アンケート														
活用例	落語アンケートではメインの真打以外の前座に対しての暖かい意見が多く、落語ファンは若手噺家にも注目していると捉え、若手噺家をメインとした地元横浜出身の若手落語家応援プログラム「ここの4人」を開催する要因の一つである。														
2) 実施日	小山実稚恵ピアノリサイタル 2023/3/9														
実施方法	来場者アンケート														
活用例	「関内ホールはクラシックのイメージがなかったが今後もまた来たい」「もっとクラシックコンサートを増やしてほしい」など市民からの要望に応えるため、クラシックコンサート開催にむけ取り組んでいる。														
3) 実施日	通年実施事業の来場者アンケート														
参加者の傾向	<p>令和5年度事業の来場者のほとんどが市内県内からとなっており、都内へ出向くより、地元で良質な公演を鑑賞したいと捉え、市内プロモーターと連携し市民が望む公演を誘致するよう取り組んでいる。</p>  <table border="1"> <caption>令和5年度事業 どちらからお越しになったか</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 横浜市内</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>③ 神奈川県内</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>④ 東京都内</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>⑥ 無回答</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>② 川崎市内</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	地域	割合	① 横浜市内	67%	③ 神奈川県内	16%	④ 東京都内	10%	⑤ その他	6%	⑥ 無回答	1%	② 川崎市内	0%
地域	割合														
① 横浜市内	67%														
③ 神奈川県内	16%														
④ 東京都内	10%														
⑤ その他	6%														
⑥ 無回答	1%														
② 川崎市内	0%														

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

- 玄関前ステージでストリートライブ「ショートパフォーマンスライブ（SPL）」を10回開催し、新たなアーティストや既存のアーティストによるライブを行い320人が来場した。
- 音楽やダンス等、新進アーティスト（若手アーティスト）支援を目的とした事業は14事業を実施し、若手アーティストの育成に取り組んだ。
- 学校プログラムでは小学校2校・中学校1校の計3校を担当し、延べ337名の生徒に伝統芸能鑑賞や音楽鑑賞など文化芸術に触れる機会を提供した。
- 子どもをターゲットとした事業は、コンサートやミュージカル、キャラクターショー、ワークショップなど、12事業を実施した。
- 関内ホール主催事業の柱である関内寄席では、若手落語家の真打への道と称し市内出身の二ツ目噺家にフォーカスした事業「ここらの4人」をスタートさせ、若手演者の育成に取り組んだ。

(4) 使命4 地域のにぎわいを創出する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	18 事業	10 事業	24 事業	—	—	10 事業	—
2 ★	デジタルアーカイブ（関内ホール動画コレクション）に地域イベント等の新規タイトルを追加	10 本 追加	10 本 追加	10 本 追加	—	—	10 本 追加	—
3 ★	馬車道商店街とのヒアリングを実施	毎月 1 回	毎月 1 回	毎月 1 回	—	—	毎月 1 回	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	連携した ことによ る地域の 定性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う
		R 5 実績	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行った (※)
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う
		R 8 実績	—

※ 地域の団体とは日常的に意見交換を実施している。地域のお祭り等イベントではエントランス敷地内に本部を設置させて欲しいと要望があり、施設の利用者に不便とならぬよう設置場所の調整開催時間の調整など、施設利用者・地域団体の相互に配慮し取組んでいる。

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

- ・ “あいすくりーむ発祥記念の日” および “馬車道まつり” において、馬車道商店街との共同主催により、円滑に事業を実施した。その他の事業についても制作・広報・技術協力をを行い、地域との協働を実現している。
- ・ 地域の関連団体（関内まちづくり振興会）と連携については、地元商店街との関係性を重視し、継続的に意見交換を行った。
- ・ 関内ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザの3館連携にて障がいの有無を超えて共にダンスを創るスクランブルダンスプロジェクト公演を実施した。（再掲）

(5) 使命5 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件	0件	0件	—	—	0件	—
2	法定点検等の実施	100%	100%	100%	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	93%	90%	100%	—	—	90%	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う。
		R 5 実績	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行った。(※)
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う。
		R 8 実績	—
2	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行う。
		R 5 実績	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行った。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行った。
		R 8 実績	—
3 ★	中期修繕計画の策定と見直し	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する。
		R 5 実績	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定した。
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—

	R 8 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する。
	R 8 実績	—

※ web アンケートは常時受け付けているなか、2018年の大規模改修でトイレなどが改善され快適に利用いただいていると捉えている。ただし「空調が効きすぎて寒かった」などアンケートでも指摘されることがあり、公演本番中は設備スタッフによるシステム監視、場内の監視カメラなどで常時客席の状況を確認しきめ細やかな調整を心掛けた。

・通常清掃ではカバーしきれない所（大ホール2階席の手すりの奥スペース）に埃がたまっていると、利用者（横浜市）からご指摘をいただいた事があり、危険を伴う場所でもあるため通常清掃では賄えないため、3ヶ月に1度の割合で定期的に特別清掃として取り組んだ。

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

- ・来場者アンケートでは空調や館内サインについて項目を設け、責任者会議において利用者の意見を共有し、より快適にご利用いただけるよう努めた。
- ・施設維持管理において年間作業計画に基づく点検を実施、管理瑕疵に起因する事故0を達成した。
- ・修繕費が60万円以上の案件は横浜市の実施となるが、緊急度、重要度に基づいてすみやかに修繕の実施ができるよう、引き続き、横浜市と連携して施設維持管理を進めていく必要がある。

令和5年度 「横浜市民文化会館関内ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	141,441,000		141,441,000	141,441,000	0	横浜市より
利用料金収入	70,290,000		70,290,000	84,537,260	△ 14,247,260	ホール稼働率UP (コロナ禍回復) 令和4:92.4% 令和
自主事業収入	30,950,000		30,950,000	26,094,238	4,855,762	2公演予算未達 令和4:22,982千円
雑入	31,148,000	0	31,148,000	31,170,834	△ 22,834	
自動販売機手数料	1,900,000		1,900,000	1,732,250	167,750	
育成センター施設負担金	13,458,000		13,458,000	12,268,000	1,190,000	
附属店舗賃借料・共益費・電気料	12,790,000		12,790,000	12,768,937	21,063	市に納付の附属店舗賃付料を含む
その他(チケット販売手数料等)	3,000,000		3,000,000	4,401,647	△ 1,401,647	チケット販売手数料、物販手数料 他
収入合計	273,829,000	0	273,829,000	283,243,332	△ 9,414,332	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	53,802,000	0	53,802,000	54,547,382	△ 745,382	
給与・賃金	46,326,000		46,326,000	51,810,134	△ 5,484,134	社会保険料計上 (保険料は出向元各社での計上)
社会保険料	5,766,000		5,766,000	1,342,264	4,423,736	社会保険料計上 (保険料は出向元各社での計上)
通勤手当	1,710,000		1,710,000	1,394,984	315,016	
健康診断費	0		0	0	0	出向者分は共同事業体各社にて負担
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	出向者分は共同事業体各社にて負担
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	出向者分は共同事業体各社にて負担
事務費	17,231,000	0	17,231,000	18,981,865	△ 1,750,865	
旅費	30,000		30,000	62,334	△ 32,334	
消耗品費	1,320,000		1,320,000	3,112,866	△ 1,792,866	音響備品ケーブル、照明バルブ (次年度分前倒し)
会議賄い費	30,000		30,000	9,701	20,299	
印刷製本費	320,000		320,000	234,183	85,817	広報費1,760,000を減額、自主事業費に付け替え
通信費	1,030,000		1,030,000	1,086,886	△ 56,886	チケット・チラシ配送費、郵券代含む
使用料及び賃借料	10,887,000	0	10,887,000	10,626,864	260,136	
横浜市への支払分	10,887,000		10,887,000	10,626,864	260,136	定期建物賃貸借契約貸付料(附属店舗)、目的外使用料(飲料自販機6台分、ドリンクコーナー)
その他	0		0	0	0	
備品購入費	360,000		360,000	624,685	△ 264,685	
図書購入費	10,000		10,000	10,000	10,000	
施設賠償責任保険	113,000		113,000	111,590	1,410	業務災害補償保険(補償対象者：自主事業時のアルバイト)を含む
職員等研修費	100,000		100,000	100,000	100,000	
振込手数料	360,000		360,000	848,746	△ 488,746	佐川手数料増、窓口キャッシュレス取扱増
リース料	1,791,000		1,791,000	1,420,100	370,900	無線機、コピー複合機、紙折機、パソコン、PC本体・保守、AED 他
手数料	70,000		70,000	70,000	70,000	チケット代引き手数料 他
地域協力費	810,000		810,000	843,910	△ 33,910	馬車道商店街協同組合費、住吉町町内会費、全国・県公文協会費
事業費	31,190,000	0	31,190,000	34,053,971	△ 2,863,971	
自主事業費	31,190,000		31,190,000	34,053,971	△ 2,863,971	事業の販促のため広報を強化、当初より事業規模を拡大した事業で費用増となった「スクランブルダンス」
管理費	178,367,000	0	178,367,000	166,622,047	11,744,953	
光熱水費	51,960,000	0	51,960,000	40,069,987	11,890,013	
電気料金	40,000,000		40,000,000	30,912,058	9,087,942	令和4年度電気料金の単価を基に算出、令和5年度激変緩和措置による値引き
ガス料金	7,980,000		7,980,000	5,150,925	2,829,075	令和4年度ガス料金の単価を基に算出、令和5年度激変緩和措置による値引き
水道料金	3,980,000		3,980,000	4,007,004	△ 27,004	
清掃費	20,068,000		20,068,000	20,068,000	0	
修繕費	3,800,000		3,800,000	3,832,840	△ 32,840	施設修繕、舞台修繕
舞台管理技術委託費	48,884,000		48,884,000	48,991,984	△ 107,984	舞台技術依託費、舞台保守点検費
機械警備費	1,040,000		1,040,000	1,040,000	0	
設備管理費	52,615,000	0	52,615,000	52,619,236	△ 4,236	
空調衛生設備保守	13,754,000		13,754,000	13,754,000	0	
消防設備保守	4,754,000		4,754,000	4,754,000	0	
電気設備保守	11,991,000		11,991,000	11,991,000	0	
害虫駆除清掃保守	810,000		810,000	810,000	0	
駐車場設備保全費	165,000		165,000	165,000	0	
その他保全費	21,141,000		21,141,000	21,145,236	△ 4,236	
共益費	0		0	0	0	
公租公課	4,285,545	0	4,285,545	5,821,287	△ 1,535,742	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	4,095,545		4,095,545	5,633,587	△ 1,538,042	当初予算の収支をマイナスで見込み支払い消費税を低く見込む
印紙税	47,000		47,000	46,000	1,000	
その他(国税・地方税)	143,000		143,000	141,700	1,300	預金利息の国税・地方税、中区法人市民税均等割り額
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,203,000	0	1,203,000	1,176,505	26,495	
本部分	715,000		715,000	715,000	0	経理事務負担金及び確定申告税理士報酬負担分
当該施設分	488,000		488,000	461,505	26,495	新聞購読料、一般廃棄物処理費、機密文書溶解処理費、粗大ごみ処理費等
支出合計	286,078,545	0	286,078,545	281,203,057	4,875,488	
差引	△ 12,249,545	0	△ 12,249,545	2,040,275	△ 14,289,820	

自主事業費収入				26,094,238		
自主事業費支出				34,053,971		
自主事業収支				△ 7,959,733		

管理許可・目的外使用許可収入				26,769,187		
管理許可・目的外使用許可支出				10,626,864		
管理許可・目的外使用許可収支				16,142,323		